

兵庫保険医新聞

第1645号
2011年2月5日

発行所 兵庫県保険医協会
http://www.hhk.jp/
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1丁目2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5F ☎078-393-1801
(1部350円送料共・年間購読料12,000円)
振替01190-1-2133
(会員の購読料は会費に含まれています)

日本の医療を 考えるクイズ

応募総数 過去最多に 8091通



協会役員らが全8091通の応募チラシの中から抽選した(1月26日、協会会議室)

協会が昨年10月から12月末までの3カ月間に実施した「日本の医療を考える景品付クイズ」は、患者・市民から総数8091通の応募があり、05年に近畿ブロックで実施した以外では過去最多となった。患者負担軽減を実現するため国と大企業の負担増が必要なることをクイズ形式で宣伝するもので、今回で5回目。

| | |
|--------------------------------------|----|
| 今号の記事 | |
| 解説「新高齢者医療制度」 | 2面 |
| 医薬品・医療材料等の共同購入「M&D保険医ネットワーク」ご利用の皆さまへ | 3面 |
| 研究 保険診療のてびき 超早期乳がんを見つけよう | 4面 |

協会ウェブサイトが リニューアル!!

http://www.hhk.jp/
または、「兵庫県保険医協会」で検索

新春講演 普天間基地問題

沖縄の声を国民の総意に

仲里沖縄協会会長が訴え



「無条件撤去」は県民の声」と仲里会長

協会が1月22日、沖縄県 仲里会長は「沖縄の基地問題は日本全体の問題。国

かざとなかのあり方が問われている」と提起。多くの犠牲者を出した沖縄戦や米軍の「銃剣とブルドーザー」による土地強奪、本土から沖縄への米軍基地移設を容認した日本政府など、国土面積の0・6%しかない沖縄県に在日米軍基地の75%が集中するに至った歴史を紹介した。また、「海兵隊はベトナムやアフガニスタン、イラク戦争で派遣された海外遠征部隊であり、『殴り込み部隊』『侵略部隊』だとして、沖縄米軍基地の87%を占める海兵隊を「抑止力」とする日米政府の見解に反論。那覇市新都心など、米軍基地返還後の土地活用による経済波及効果の大きさも説明した。

仲里会長は「県民の総意は『普天間基地の無条件撤去』だ。代替地探しは基地のたらい回し、基地容認でしかない」と強調。「県民の総意を日本国民の総意にしよ」と参加者に呼びかけた。

「窓口負担軽減せひ」

応募の内訳は、医療機関や関係団体からの申し込みが6975通、協会ホームページからメールでの申し込みが1116通で、合計8091通に及んだ。

抽選会は1月26日に担当役員が出席して行われ、103本の当選者が確定した。意見欄へも多数の記入

福祉医療改悪案 県が一部見直し

実施時期を1年先送り 所得制限は原案のまま

兵庫県は1月14日、福祉医療制度の改悪案について、市町からの意見やパブリックコメントによせられた県民の声を踏まえ、当初案を見直した2次案を発表した。

2次案は、乳幼児医療費助成事業などの所得制限強化について実施時期を「平成24年度中の適切な時期からの実施をめざす」とした。

署名に書きこまれた会員の声(抜粋) ・若い世代が安心して子育てができる制度にすべき。 ・乳幼児の早期受診にて軽症のうち治療することが困難になる。受診の遅れ、重症化は結果としては医療費が増える。(尼崎市)

燭心

予想以上に今年の冬は寒さが厳しい。久しぶりに霜柱というものにお目にかかった。冷蔵庫のなかの子どもの頃を思い出す。芋や根菜類、さらには白菜などを台所近くの庭に穴を掘りそこに貯蔵していた。用事を言いつけられ霜柱の立つ中、覆土を取り除きそれらを掘り出した。冷蔵庫があっても物を腐らせる時代と違い、食べ物をとて大切にしていた。もう一つ寒さに拍車をかけているのがこのお国の政治状況。迷走に次ぐ迷走、誰が見ても使えない物にならない政府与党。

寒い冷蔵庫の中干からびた大根の切れ端以下だ。内閣改造にいたっては消費税増税のためか、打倒民主党を唱えていた議員を閣内に入れていた議員を閣外に選ぼうも承諾する方も腐りかかっている。この面々に私たちの税金で政党助成金など論外である。約束を守りましょう。人の物をとってはいけません。おまわりさんに言いつけまますよ。小学生、幼稚園児のレベル。このことに関して説明が必要か。このお国には立派な憲法というものがあ。為政者の暴走を防ぐための法律。その99条には為政者および公務員はこれを守れと記してある。ひょっとして憲法が103条もあるから時の為政者は最後まで読み切っていないのか。思い切って短くする手もある。以前、『橋のない川』の著者、住井すゑ氏が提案していた2条国憲法というものを思い出した。嘘をつく②人を殺す①このくらい簡素にすれば暗記も簡単、守れる?(無)

保険診療 のてびき

—641—

超早期乳がんを見つけよう

—乳腺外来との連携—

姫路市・にしはら乳腺クリニック院長 西原 徳光先生講演



兵庫県保険医協会

☎ 078-393-1801

Fax 078-393-1802

http://www.hhk.jp/

年々増える乳がんの罹患率

日本では、年々歳々乳がんの罹患率が増え、今では年間4万人以上の女性が乳がんになり、女性の16人に1人が乳がんになる時代になっています。その上、欧米と異なり乳がん死が確実に増えていますが、原因は乳がん症例の早期がん比率が有意に増加していないことです。

2004年より、乳がん検診がマンモグラフィ主体になったにもかかわらず、2007年度の全国の早期がん比率は46%にすぎず、1992年度から7%しか上昇しませんでした。

超早期乳がんの考え方の提唱

早期乳がんの定義は、遠隔転移と腋窩リンパ節転移がないことが前提条件で、触診または画像診断で腫瘍径が2cm以下の乳がんです。しかし、この2cmにはなんら論理的な根拠はなく、ただ触診で触知できる平均値にすぎません。

理論的がんの成長曲線では、触診で触ることができる最少の大きさである1cm径の腫瘍の成長には、発症から約10年の期間が必要と推定されています。それに比べて、腫瘍径が1cmから10cmに成長する期間は、わずか3年と推定されています。私たちは、成長速度が緩やかな時期である5mmから1cmの時期の乳がんの検出を目指すべきであることを、この理論がん成長曲線は雄弁に物語っています。

姫路市医師会が、2003年度から2008年度までの6年間に行ってきた、マンモグラフィ併用乳がん検診で発見された乳がんにおける早期がん比率は65%でした。その中で特筆すべきことは、触ることができないがんにおける早期がん比率が85%という数値です。私たちが目指すべき、乳がん患者の早期がん比率の目標値が見えてきました。

癌研の報告によると、約6千例弱の乳がん症例が対象の乳がん術後腫瘍径別生存率曲線において、腫瘍径10mm以下の症例で術後10年以後死亡者が見られないことは、衝撃的な報告です。乳がんの年齢階層別の罹患率では、40歳代～50歳代にピークを迎えることを考えれば、私たちが乳がんを10mm以下で発見することは、大きな福音をもたらすと想像されます。

にしはら乳腺クリニックは、超早期乳がんという考え方を提唱します。超早期乳がんとは、早期乳がんのなかで腫瘍径が10mm以下のものを示します。

従って、超早期乳がんは、①がんの組織学的核異型度が低く、かつ乳管内のがん病巣の進展が進んでいない、②ER、PgRの発現量が高い、③HER2の発現量が低い、の3点のPotentialityを秘めています。

その結果、生まれてくる福音は、①副作用に苦しむ化学療法必要性が減少する、②外科的ながん病巣が遺残しない乳房温存術症例が増加する、③10年以降の再発率が極端に減少する、などです。

超早期乳がん発見比率を増やすために

ここで、既述した期間に姫路市医師会

が行った検診マンモグラフィで検出した106例の早期乳がんのなかで、超早期乳がんが占める割合を検討したところ、超早期乳がんは63例に相当し、早期乳がん内で59.5%も占めます。私たちが超早期乳がんで見つけ出すことは、決して夢物語ではないことを示しています。

乳がん患者において、超早期乳がん比率を増やすために、第1に女性が検診機関および医療機関を受診することから始まります。第2にマンモグラフィ、または乳腺超音波検査で病巣を確実に検出することです。第3に、病理学的に癌非癌の鑑別を確実にすることです。この三つは、一つも欠くことができません。

第一については、昨年度から開始された無料クーポン事業による乳がん検診受診率が増大したことなどから示唆されるように、行政の財政出動がこれからますます求められます。乳がん患者さんが医療機関受診に至った症状は「乳房のしこり」「乳頭からの血性分泌」「乳房痛」「乳房の違和感」「乳がんが心配で不安で仕方がない」などです。このような症状で多くの女性が悩まれていますから、一般女性が乳腺外来を受ける風景がありふれたことにならなければなりません。

第二については、前提として検診マンモグラフィの読影精度は高くなければなりません。その上で、超音波検査についてはInterventionの適応に対して、適切なCriteriaを持っておくべきです。

第三については、臨床医が乳腺病理医と議論できる程度の病理学的知見およびInterventionの代表である穿刺吸引細胞診(FNA)や経皮的針生検(CNB)の長所と短所に対する習熟により、癌非癌を最終診断していくことが重要です。

にしはら乳腺クリニックは、2010年5月1日開院いたしました。開院以来2010年11月30日までの7カ月間に来院した、検診を除く乳腺関連患者総数1053例のうち、当院で乳がんと診断された乳がん患者数は33例、乳がん有病率は3.13%でした。早期乳がん患者数は16例、早期乳がん比率は48.5%にすぎず、既述の46%と差がありませんでした(図1)。

さらに、にしはら乳腺クリニックでは、超音波検査で5mm以上のサイズで認められた腫瘍性病変・のう胞性病変・低エコー病変など、がんも疑われる病変に対しては、図2～3の通り積極的にIntervention(穿刺吸引細胞診、経皮的針生検など)を行っています。

乳腺外科と他科の連携は必要不可欠

今後は早期乳がんをより多く検出することが、ますます重要となります。そのためにも、乳腺外科と他科の連携は必要不可欠になると確信いたしております。ぜひ他科の先生方におかれましては、乳腺疾患に関心を持っていただき、共に乳がん症例における早期乳がん比率の向上を目指したいものです。

さらに一歩進んで、乳がん症例のほと

んどが、超早期乳がん患者である世界を最終的に創り上げたいものです。

(姫路・西播支部「他科を知る会」より。見出しは編集部)

図1 にしはら乳腺クリニック発見乳がん数 (2010年5月1日～11月30日)

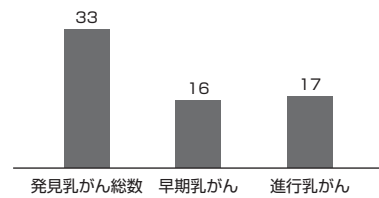


図2 穿刺吸引細胞診断の月別検査数 (にしはら乳腺クリニック:2010年5月1日～11月30日)

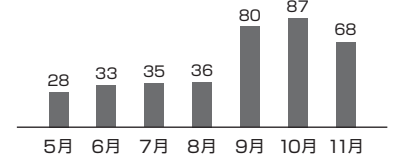
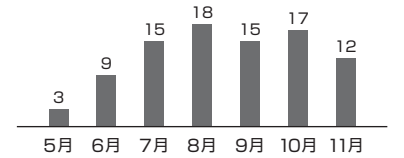


図3 経皮的針生検検査の月別検査数 (にしはら乳腺クリニック:2010年5月1日～11月30日)



審査対策部だより

再審査請求の取り扱い

支払基金は「写しレセプト」での再審査を実施

レセプト審査は、従来レセプトの原本で行うこととされていたため、医療機関から再審査請求を行っても保険者から原本が返付されず、長期間放置されるケースが散見されていました。

このため協会では、保険者からレセプト原本が返付されない場合は、医療機関がレセプトの写しを提出しているときは当該写しレセプトでの再審査を行うこと、写しが無いときは無条件で復活とすることを求めてきました。

支払基金では2010年4月から、医療機関から再審査請求があった場合、保険者へ該当レセプトの返付を依頼し、3カ月

を経過しても返付・連絡がないときは再度返付依頼を行い、その後2カ月間経過しても返付・回答がないときは、医療機関が添付した写しレセプトで再審査を行う取り扱いに変更しています。

このため、再審査請求を行う際は、可能であれば写しレセプトを添付することをおすすめします。

今回の変更は一定の改善ではありますが、協会審査対策部では、引き続き写しの添付が困難な場合は無条件で復活とすることと併せて、国保連合会に対しても同様の取り扱いを行うよう要望していきます。

診療内容向上研究会 第464回

内視鏡でがんはどこまで診断でき、治療できるか?

～消化管内視鏡診断/治療の現況と展望～

日時 2月26日(土) 17時～19時 場所 協会会議室
講師 大阪医科大学第二内科学教室(消化器内科) 准教授 梅垣 英次先生
共催 武田薬品工業株式会社



プロトンポンプインヒビター
タケポン カプセル15・30 OD錠15・30 静注用30mg
ランザップ 400・800

効能・効果、用法・用量、禁忌(原則禁忌を含む)、使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

資料請求先
武田薬品工業株式会社
〒540-8645 大阪市中央区道修町四丁目1番1号
http://www.takeda.co.jp/ (1007)

薬科部 東和薬品株式会社大阪工場見学会

日時 3月13日(日) 10時～12時 現地集合・解散
見学先 東和薬品株式会社大阪工場(京阪電車「門真市」駅下車。三宮から1時間)
参加費 無料 定員 20人

お問い合わせは、☎078-393-1817 石本、山田まで